

圧力調整注入工法
による補修対象



- 土木構造物 -

橋梁上部エ (床版・桁・高欄・地覆)、橋梁下部エ (橋台・橋脚)、
トンネル、コンクリート舗装、ダム、水槽、上下水道施設・上下水道、
空港、港湾、防波堤・防潮堤、水門、農業水利施設、
鉄道 (保線・構造物)、通信施設、エネルギー供給施設、
ボックスカルバート、擁壁、護岸

- 建築物 -

高層ビル、病院、文化施設、官庁施設、集合住宅、学校、工場、
スポーツ施設、公園、地下空間、部材 (柱・梁・スラブ・基礎・内外壁)

施工事例



リーフ・ダイバGHD株式会社
環境土木事業部

〒411-0803 静岡県三島市大場241
☎ 055-977-1170 (FAX : 055-977-1119)
✉ kankyo-doboku@daiba.co.jp

公式HPはこちら

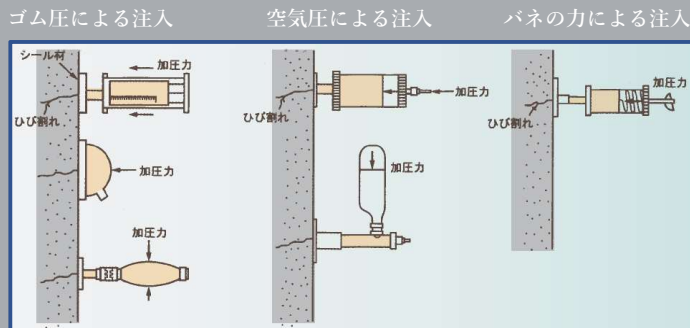


インフラの長寿命化の実現へ
圧力調整注入工法



- 加盟協会 -
(一社) 圧力調整注入技術研究会
圧力調整注入工法 施工協力店

圧力調整注入工法



自動式低圧注入工法
(従来工法)

※使用時に取り付けた専用プラグと
残留注入剤は、すべて廃棄物

Performance

信頼される注入性能

- 品質を高める新たなシステムを構築 -
- 注入装置の継続的な改良・開発
- 困難な注入を可能にする2つの注入機構
- 注入可能な幅・深さが大幅に向上
- 独自の施工管理基準を設定



Versatility

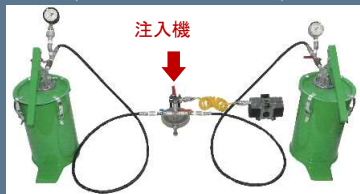
優れた適応力

- あらゆる補修材、ひび割れ・止水に対応可能 -
- 複数材料の連続注入可能
- 樹脂・セメント・含浸系材料の使用可
- 土木構造物・建築物・部材に適用
- 様々なアタッチメントを装備

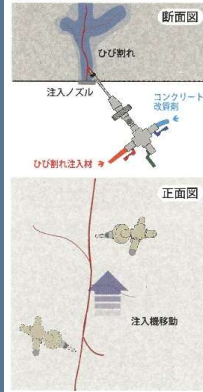


表面から注入

真空吸着型圧力調整注入工法
(NETIS:TH-110002-A)

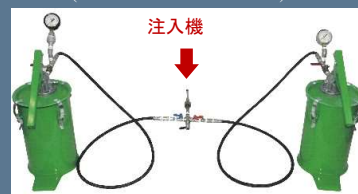


●異なる注入材を注入する場合

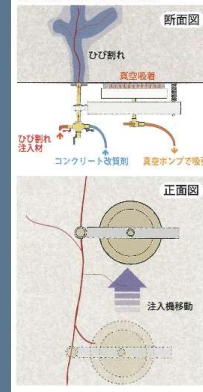


内部から注入

ノズル型圧力調整注入工法
(NETIS:TH-110003-A)



●異なる注入材を注入する場合



Eco-friendly

環境負荷の低減

- 廃棄物の排出ゼロ、施工速度の向上で工期短縮 -
- 注入器具の廃棄ゼロ
- 注入器具の接着が不要
- 注入材料のロスが減少
- 施工時間の大幅な短縮

廃棄物比較

圧力調整注入工法

廃棄物
なし



- ひび割れ1mを補修する場合 -

- 注入器具約5個
- 器具内に残った注入材



低圧注入工法

廃棄物
なし



- ひび割れ50mを補修する場合 -

- 注入器具約250個
- 器具内に残った注入材



圧力調整注入工法

真空吸着型とノズル型の
二つの注入工法

